

特定第二種漁港市長協議会

幹事会を開催

予算について講演も



幹事会の様子

特定第二種漁港を有する全国13の市長で構成する特定第二種漁港市長協議会（会長・野平匡邦、子市長）の第29回幹事会が、2月15日午後2時30分から電が関川35階の東海大学校友会館において開催され、橋本牧水産庁漁港整備部長、田中潤児（全国漁港漁場協会会長）、佐藤雅彦（農林水産省・文部科学省・環境省・公益社団法人国土緑化推進機構）の3名が、NPO法人共存の森ネットワーク主催による「第11回聞き書き甲子園フォーラム」が、3月30日（土）午後1時から、JR西国駅近くの東京都江戸東京博物館ホールにおいて開催される。

来賓の橋本部長は、政権交代があり、24年度補正予算、25年度予算が編成された。今までは円高・震災・原発問題の影響もあり、水産輸出も伸びず、水産輸出が今後、伸びていくことが、デフレ、円高対策や競争力のある強い産業の構築が推進される。公共事業費は上乗せされ、水産基礎整備予算も大きく伸びた。復興関係予算も積み増しされる。復興から再生への動きとなる。また、6次産業化、海レクや食に関して漁港の持つメリットが活用されるように知恵を絞る。力強い地域づくりを進めたい」と挨拶した。

講演会では、24年度補正予算及び25年度予算概算決定について、をテーマに、三上信雄水産庁漁港整備部長が「漁港の機能向上のために、国・県に働きかけていきたい」と挨拶した。その後、講演に移り、美子氏による基調講演を聞き書きを行い、認定された甲子園への、フォーラム申込み、と明記のうえ、次の事項をFAXあるいはメールにて申込み・問合せ（着順受付）

第19回通常総会を7月31日（水）に八戸市で開催すること及び総会の開催（議案書）について確認をした。

仙沼市の広瀬潤水産部長から、「東日本大震災の発生から2年が経つが、最初の年は生き残った。一年であり、24年は復興の年であった。この間の皆さんの励みと支援にお礼を申し上げたい。特に浜田市からは人的な支援を頂いた。復興予算は700億円と大きく、不足しているが、絶対皆さんの支援を頂きたい。」と大震災に関するお礼とお願いの発言があった。

ながさきSUISAN・ウィンタースクール開催

（社）長崎県漁港漁場協会



105名が参加した

（社）長崎県漁港漁場協会は、平成25年2月27日（日）に「ながさきSUISAN・ウィンタースクール」を長崎市内のホテルセン

トビル長崎で開催した。この勉強会は、本県水産物の生産と地域の活性化の発展と地域の活性化

化に寄与するため、会員等関係者を対象に、水産を取り巻く厳しい社会環境の経済環境のなか新たな活路の探求と発見をテーマに実施した。この熱心な講演に聴き入り、また、第5部の「ながさき」のブランドを語る情報交換会には約30名が参加し、同ホテルの「出島」で長崎県水産部漁港漁場課の吉岐雅夫課長の

挨拶が始まり、ながさきのブランドを語りながらの情報交換会に余念の無い時間経過した。演題と講師などの概要は次の通り。

第1部 ブランド化推進講座
ブランド魚 開きと閉きさへ取り組んで
大分県漁業協同組合 佐賀支店支店長 坂井伊智 氏
東京営業部長 坂井伊智 氏
代表 張景子氏
水産物消費の動向
東原半島南部漁業協同組合 吉田亜紀彦氏
執行役員 吉田雄雄氏
第3部 豊かな水産業の再生セミナー
平成25年度水産基礎整備関係予算について
水産庁漁港整備部計画課総括課長補佐 三上信雄氏
水産多面的機能発揮対策事業について
水産庁漁港整備部計画課総括課長補佐（企画班担当） 山崎雄一氏
漁村地域の活性化について
漁村の六次産業化の推進
水産庁漁港整備部防衛課課長 本田直久氏
平成25年度漁村活性化に向けての新たな取組に

村会、長崎県漁港漁場協会、長崎県漁務事務参事会の後援を得て開催した。同スクールの開校に先立ち、主催者を代表して友田郁洋会長（松浦市長）が挨拶し、続いて長崎県水産部部長（久松部長）より来賓祝辞があった。成で、9時30分から19時30分まで参加者は講師10名の熱心な講演に聴き入り、また、第5部の「ながさき」のブランドを語る情報交換会には約30名が参加し、同ホテルの「出島」で長崎県水産部漁港漁場課の吉岐雅夫課長の

挨拶が始まり、ながさきのブランドを語りながらの情報交換会に余念の無い時間経過した。演題と講師などの概要は次の通り。

第2部 消費環境変化を捉えた地域の活性化推進講座
中国の水産物の昨今とこれからの日中水産業について
公益社団法人海外漁業協会の特別参事 周衛 氏
力財団特別参事 周衛 氏
中国の文化と向き合う
株式会社JCKフレンズ 代表 張景子氏
東京営業部長 坂井伊智 氏
水産物消費の動向
東原半島南部漁業協同組合 吉田亜紀彦氏
執行役員 吉田雄雄氏
第3部 豊かな水産業の再生セミナー
平成25年度水産基礎整備関係予算について
水産庁漁港整備部計画課総括課長補佐 三上信雄氏
水産多面的機能発揮対策事業について
水産庁漁港整備部計画課総括課長補佐（企画班担当） 山崎雄一氏
漁村地域の活性化について
漁村の六次産業化の推進
水産庁漁港整備部防衛課課長 本田直久氏
平成25年度漁村活性化に向けての新たな取組に

の長時間であったが参加者は内容の濃い講演を熱心に聴講した。

「内容及び講師」「水産基礎整備事業の平成24年度補正予算の概要と漁港施設の老朽化、防災・減災対策について」「水産庁漁港整備部整備課 小森健史課長」「漁業地域の減災対策衛生管理対策等について」

中村隆第一調査研究所 部長

（コーディネーター）
・財団法人ながさき地域政策研究所 事務理事 調査研究部長 菊野文氏
ブランド化六次産業化推進教室（パナール）
・水産庁漁港整備部 防衛課 課長 本田直久氏
・大分県漁業協同組合 佐賀支店支店長 坂井伊智 氏
・東原半島南部漁業協同組合 参事 吉田亜紀彦氏
・五島町漁業協同組合（コーディネーター）
・元長崎大学水産学部教授 片岡千智之氏

第26回福岡県水産関係幹部職員研修会

（社）福岡県漁港漁場協会が開催

（社）福岡県漁港漁場協会（会長 八並康 行橋市）は、2月14日福岡市の「ホテルレガロ福岡」において、水産庁、（財）漁港漁村技術研究所及び福岡県農林水産部水産局水産振興課の協力により、第26回福岡県水産関係幹部職員研修会を開催した。

この研修会は、県内市町の漁港漁場関係幹部職員を対象としたもので、30名が参加した。

研修会では、国の平成24年度補正予算及び平成25年度予算概算決定の概要、漁港施設の老朽化対策、また、（財）漁港漁村技術研究所から漁業地域の減災対策、衛生管理対策等について、



生管理対について詳しく、具体的に説明があった。

研修会では、午後1時30分から、有江康幸福「漁業地域の減災対策衛生管理対策等について」

中村隆第一調査研究所 部長

「内容及び講師」「水産基礎整備事業の平成24年度補正予算の概要と漁港施設の老朽化、防災・減災対策について」「水産庁漁港整備部整備課 小森健史課長」「漁業地域の減災対策衛生管理対策等について」

中村隆第一調査研究所 部長

第11回聞き書き甲子園フォーラム

3月30日江戸東京博物館で

「第11回聞き書き甲子園フォーラム」が、3月30日（土）午後1時から、JR西国駅近くの東京都江戸東京博物館ホールにおいて開催される。

聞き書き甲子園は、全国から応募のあった高校生（中学生）の作品を、作家の浜田久

美子氏による基調講演を聞き書きを行い、認定された甲子園への、フォーラム申込み、と明記のうえ、次の事項をFAXあるいはメールにて申込み・問合せ（着順受付）

①住所 ②氏名 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤Eメールアドレス ⑥所属団体名、企業名

申込み・問合せ先
NPO法人共存の森ネットワーク
電話 03-6432-6580
FAX 03-6432-6590
メール info@foxthe-japan.com
募集人員 400名先着順受付、無料

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」

「Kikigaki」
「Kikigaki」
「Kikigaki」